

製品名: ATP5S ウサギポリクローナル抗体**カタログ番号: APRab07340**

研究使用のみ

概要

説明	ウサギポリクローナル抗体
宿主	うさぎ
応用	WB,ELISA
反応性	ヒト、マウス
標識	非共役
修飾	未修正
アイソタイプ	IgG
クローン性	ポリクローナル
形態	液体
濃度	1mg/ml
保存	アリコートし、-20°Cで保存してください（12 ヶ月有効）。凍結/融解サイクルを避けてください。
輸送	氷袋
バッファー	50% グリセロール、0.5% 保護タンパク質、0.02% 新タイプ防腐剤 N を含む PBS 液。
精製	アフィニティー精製

応用

希釈倍率	WB 1:500-1:2000,ELISA 1:5000-1:20000
分子量	23kDa

抗原情報

遺伝子名	ATP5S
別名	ATP5S; ATPW; ATP synthase subunit s; mitochondrial; ATP synthase-coupling factor B; FB; Mitochondrial ATP synthase regulatory component factor B
遺伝子 ID	27109.0
SwissProt ID	Q99766
免疫原	抗血清はヒト ATP5S 由来の合成ペプチドに対して作製された。アミノ酸範囲: 21-70

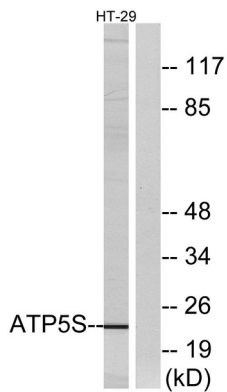
背景

この遺伝子は、ミトコンドリア ATP 合成酵素のサブユニットをコードします。ミトコンドリア ATP 合成酵素は、酸化的リン酸化反応

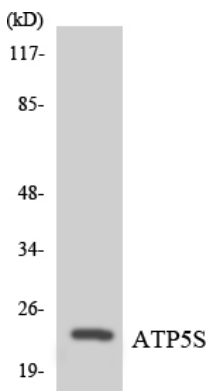
中に内膜を横切るプロトンの電気化学的勾配を利用して ATP 合成を触媒します。ATP 合成酵素は、可溶性触媒コアである F1 と、プロトンチャネルを構成する膜貫通構成要素である Fo という、2つの連結した多サブユニット複合体で構成されています。この遺伝子は、プロトンチャネルのサブユニット（因子 B とも呼ばれる）をコードします。このサブユニットは、ATP 合成酵素複合体のエネルギー変換活性に不可欠です。異なるアイソフォームをコードする選択的スプライシング転写バリエーションが同定されています。[RefSeq 提供、2008 年 7 月] 注意: Met-1 と Met-16 のどちらがイニシエーターであるかは不明です。機能: ミトコンドリア膜 ATP 合成酵素の制御に関与します。ATP 合成酵素の H(+)伝導に必要。類似性:ATP 合成酵素サブユニットファミリーに属する。サブユニット:モノマー。ATP 合成酵素と関連する。、

研究分野

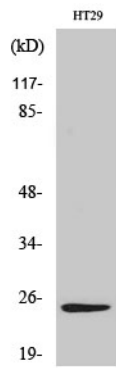
画像データ



ATP5S 抗体を用いた HT-29 細胞ライセートのウェスタンブロット解析。右レーンは合成ペプチドでブロッキングされている。



ATP5S 抗体を使用した K562 細胞の溶解物のウェスタンブロット分析。



ATP5S ポリクローナル抗体を用いた様々な細胞のウェスタンブロット解析